

野鳥で今シーズン1例目、北海道苫小牧市で 高病原性鳥インフルエンザウイルス陽性!!!

10月15日に北海道苫小牧市で回収された死亡野鳥(オオタカ)について、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が検出されました。

本事例は、本年の渡り鳥の飛来シーズンを迎えて以降初めてとなる国内における同ウイルスの検出となります。

※ 本事例を受け、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを令和7年10月17日(金)付けで「対応レベル2」に引き上げ、野鳥における監視が強化されました。

改めて飼養衛生管理の徹底をお願いします。

農場へのウイルス侵入防止対策の強化を!

飼養衛生管理の基本的な管理項目を毎月点検し、不備があれば改善してください。

【人、物、車両の出入り対策】

- ・衛生管理区域専用の衣服や靴の使用
- ・着用前後で交差のない動線、明確な境界を確保
- ・適切な車両消毒、手指消毒の実施
- ・家きん舎ごとの専用の靴の使用

【野生動物の侵入防止、誘引防止】

- ・畜舎の壁、防鳥ネット等の破損修繕
→特にネコ、イタチ、カラス等の侵入を防止
- ・ねずみ及び害虫の駆除
- ・鶏卵・鶏糞の搬出口に覆いを設置
- ・餌置場の清掃、死体や廃棄卵の適切な処理など誘引を防止

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

東濃家畜保健衛生所

TEL:0573-26-1111(内394) FAX:0573-25-7669

休日・夜間は警備室 0573-26-1114 にお電話ください